

都市計画道路 中央線
整備事業 (秋田県角館町)

■表彰対象者：秋田県角館町建設課

表彰の理由

秋田新幹線開業に合わせて角館駅周辺の慢性的な交通混雑を解消し、公共交通のアクセスを容易にすることを目的として、歴史的街並みに配慮しつつ駅前広場を総合的に整備しており、特に木造のバス・タクシー乗り場や桜の高木・老木等の植栽は「みちのく小京都」と呼ばれる角館町の顔にふさわしい都市景観を演出していることなどが評価された。



上空から見た駅前広場全景



路線バス、観光バス用のロータリー



「歴史と文化の町」「みちのくの小京都」の玄関口に相応しく生まれ変わった駅前広場



駅前広場全景



駅前ロータリー並びにタクシープール



整備前の駅前広場



コンクリート平板ブロック貼りの歩道

- 道路延長：125.0m
- 道路幅員：20.0m
- 駅前広場面積：7,000㎡
- 全体事業費：1,752百万円
うち街路事業費：1,752百万円
- 事業期間：昭和63年度～平成8年度



広場のシンボルとして、夜にはライトアップされている観光情報センター「駅前蔵」

事業の効果

本事業の完成により角館駅周辺は、「みちのくの小京都角館町」の顔に相応しい魅力ある都市環境をつくりだし、ゆとりと潤いのある都市空間の創出に著しい効果が認められた。また、秋田新幹線の開業と併せて完成したため、駅及び駅周辺の整備も進み、この駅前広場から「歴史と文化の町」角館町の新たな文化創造へ向けての出発点となることの期待がかかる。

事業のあらまし

都市計画道路中央線（駅前広場）は、JR田沢湖線及び秋田内陸縦貫鉄道の角館駅前広場を中心として整備した事業で、整備前の駅前広場は、狭隘で交通混雑が激しく慢性的な交通渋滞に陥っていたため、その根本的な解決を図ることを目的に、周辺地区の道路改良も含めた整備した。

また、みちのくの小京都角館町は、「歴史と文化の町」として大勢の方々を訪れることから、秋田新幹線の開業に併せ、秋田県の玄関口としての駅前広場を整備した。